

市の主要事業のあゆみ

エコバレー、大交流の推進

《平成25年1～3月取組み》

■大規模太陽光発電所(山宮地場ソーラー)の整備

第1期事業の冬期3カ月間(平成24年12月中旬～平成25年3月末)の発電実績は、想定発電量の86%でした。

■豊岡エコポイント制度

3月末現在のエコポイント交付状況は次のとおりです。

○市民エコポイント

- ・2万4888ポイント交付
- ・第2回抽選会 3月24日

○企業エコポイント

- ・61事業所が登録
- ・294万5000ポイント交付

■豊岡ノーマイカーデー

- 毎月第2水曜日、豊岡ノーマイカーデーを実施
- ・第4回 1月9日
- 14事業所、3個人、計205人参加
- ・第5回 2月13日
- 15事業所、2個人、計17

- 5人参加
- ・第6回 3月13日
- 15事業所、3個人、計170人参加

■スマートビレッジ調査

市内5カ所(畑上、玉淵、万劫、奥山、坂津)で小水力発電などの利用可能量調査を行い、3月末にまとめました。

■大交流アクションプランの策定

3月から市内関係者が参加し、策定作業を進めています。

■大河ドラマ活用による情報発信

大河ドラマ「八重の桜」の登場人物で、出石藩出身の川崎尚之助を通して、出石・豊岡の情報発信や関係地域との交流を進めました。

■海外の観光ガイドブックを活用した情報発信

「ミシユラン・グリーンガイド・ジャポン」に城崎温泉が二つ星で掲載されるなど豊岡市が広く紹介されました。

《平成25年4月以降の予定》

- 大規模太陽光発電所の整備
- ・山宮地場ソーラー第2期事

業は、4月に着手し、9月末に完成予定です。
堀地区地場ソーラーは、(株)ネカが市有地を借りて、太陽光発電所を整備予定です。
竹貫地区地場ソーラーは、市が太陽光発電所を整備予定です。

■大交流の推進

豊岡エキシビジョン、アンテナショップなど首都圏での情報発信、外国人の誘客促進などの海外戦略、情報誌「豊岡顔」やインターネット、大河ドラマ活用などによる情報発信戦略などに取り組みます。

■生物多様性関連事業の推進

《平成25年1～3月取組み》

■「第2回世界一田めになる学校」フィールドイブニングに参加

2月2・3日、東京で8月に開催された「世界一田めになる学校」に引き続き、新潟県佐渡市で開催されました。フィールドでの観察や体験を踏まえ、未来の田んぼを考えるワークショップを実施し、「佐渡音マップ」を作成しまし

た。
・新潟県佐渡市、宮城県大崎市、豊岡市(6人)の小学生17人が参加

た。
・新潟県佐渡市、宮城県大崎市、豊岡市(6人)の小学生17人が参加

■生物多様性地域戦略の検討

検討委員会での検討案をまとめました。夏までに戦略を策定する予定です。

・検討委員会

- 第4回 2月14日
- 第5回 3月13日
- ・検討案市民説明会 3月9日

■コウノトリ野生復帰学術研究発表会の開催

3月24日、平成23・24年度に市の補助を活用し、豊岡をフィールドに研究を行った10人(組)の学生が、研究成果を報告しました。

■コウノトリKIDSクラブ

学校や学年を超えて、コウノトリとその生息を支える豊岡の自然について学ぶ活動を年間を通して行っています。

平成24年度は、小学生19人、中学生1人が、9回の定例活動の他、他地域の子どもたちとの交流活動などに参加しました。

新庁舎建設事業の推進

現本庁舎の補修工事が必要となったため、工事全体が遅れが生じ、工期を7月25日まで延長しました。引き続き、工事の進行にご理解とご協力をお願いいたします。

《平成25年1～3月取組み》

■工事の状況

○現本庁舎工事：内装と外装の仕上げ

工事を進め、新設エレベーターの設置工事を進めました。

○新庁舎工事：高層部および東低層部の躯体工事が完了し、順次内装および外装の仕上げ工事を進めました。

8月に全ての本庁部署(健康福祉部、上下水道部を除く)を段階的に新庁舎へ移転するため、移転運搬業務の委託契約を締結しました。

《4月以降の予定》
現本庁舎と新庁舎の内装仕上げ工事を引き続き進めます。



▲躯体工事が進み新庁舎の全容が明らかに

歩く喜び まちづくりの推進

《平成25年1～3月取組み》

健康づくり推進モデル事業

「からだづくり。仲間づくり。まちづくり。」開催

1月27日

大阪産業大学・一般社団法人OVAL HEART JAPAN主催

・新しい健康、体力づくりのかたちを提案されました。

モデル地区代表者会議開催

2月25日

・西花園、下陰、桑野本、岩中区の代表者が活動状況や課題を話し合いました。

・参加者の拡大、継続の重要性や参加者が楽しく、目標を持って取り組める教室づくりについて議論しました。

健康づくり市民のつどい開催

3月4日

・テーマ「健康づくりで『人・むら・まち』を元気に」

・モデル地区の下陰、桑野本区が実践発表

血液検査等の結果

運動教室参加者と未参加者を比較すると、3カ月間でBMIが適正となり、インスリンの効き目を表す値

(HOMAIR)が改善。健康に対する効果、特に糖尿病予防効果が期待できることが明らかになりました。

今後の予定

健康づくり推進モデル事業

・運動教室や歩数計の参加者が増え、地域での健康づくりの輪がますます広がるようになり取り組めます。

・運動教室(玄さん元気教室)の全市展開を目指します。



▲健康づくり市民のつどい

公共交通利用促進

《平成25年1～3月取組み》

上限200円バス社会実験

事業

卒業後も通学や通勤に神鍋線を利用してもらうため、神鍋線沿線の日高西中学校3年生に出前授業を行いました。

また、沿線地区の主に高校生を対象に、神鍋線利用意向調査アンケートを実施しました。

・日高西中学校出前授業 2月25日

・利用意向調査アンケートの実施 2月

・乗込調査の実施 延べ3回

市営バス「イナカー」住民説明会

平成23年10月から平成24年9月までの1年間の市営バス「イナカー」の利用状況をお知らせするとともに、地域の皆さんの意見をいただくため、地区別に住民説明会を実施しました。

・市営バス「イナカー」住民説明会(7地区) 2月5日～20日

e通勤プロジェクト

マイカーから公共交通機関での通勤へ転換する取組み「e通勤プロジェクト」を推進しています。

公共交通機関を利用するきっかけづくりとして、昨年10月から毎月第2水曜日を「豊岡ノーマイカーデー」としています。

《4月以降の予定》

上限200円バス社会実験

平成23年10月から平成24年9月までの社会実験では、目標利用者数を達成することはできませんでしたが、高校生の利用増加や高齢者の外出機会の創出など、一定の成果が認められました。

このことから、社会実験を1年間継続することとしました。引き続き、運行事業者や地域と一体となり、利用促進に取り組みます。

中心市街地活性化

《平成25年1～3月取組み》

（仮称）まちなかステーション整備事業

市土地開発公社が平成9年に先行取得した市街地東部の用地(現在はいちご駐車場)を市が買戻します。

来訪者を中心市街地に引き込む市街地東部の玄関口を創出するために、(仮称)カバン・アルチザン・スクエア事業と連携し、来訪者向けの情報提供やイベントに利用できる多目的広場「(仮称)まちなかステーション」を整備します。

南庁舎別館施設活用事業

菓子を中心テーマににぎわい拠点施設として整備します。

施設を運営する予定の「一般社団法人ノオト(篠山市)の提案内容の実現に向け、実施設計を進めています。

（仮称）カバン・アルチザン・スクエア事業

事業主体の豊岡まちづくり(株)において、実施設計が行われており、シヨップは平成26年1月、靴職人育成スクールは平成26年春の開設を目指し事業が進められています。

《平成25年4月以降の予定》

（仮称）まちなかステーション整備事業

4月に事業用地を買い戻し、7月に整備工事着手します。平成26年1月、「(仮称)まちなかステーション」がオープンする予定です。

南庁舎別館施設活用事業

7月に実施設計作業を終え、秋から整備工事に着手します。平成26年春にオープンする予定です。

（仮称）カバン・アルチザン・スクエア事業

6月から整備工事に着手される予定です。